

「冬季研修総会を終えて」

冬季研修総会を予定通り 2 月 4 日（土）に実施しました。

山崎支部長の全体指導では、全会員が食い入るように ZOOM 画面を見つめて謹聴しました。今年度の支部代表として本部教育研究発表会で実践発表し活躍した会員や、今年度の新入会員の紹介も交えた、充実感たっぷりのご指導でした。

次に、ときわ会創設 150 周年となる来年度を見据えて、OB 会から激励メッセージを頂く時間を設けました。参会頂いた 10 名の OB 会員からお一人ずつ現会員に向けたメッセージを頂きましたが、たいへん含蓄のあるお言葉が胸に染み入り、「良いお話が聞けて良かった」「OB の皆さんの個性が溢れ、心に響いた」という会員の声があちこちで上がりました。短時間ではありましたが、意義深い時間となりました。

続いての学力向上委員会からの発表では、阿賀町教委の小樋山管理指導主事から、「これからの求められる授業」というテーマで実践例紹介・提言発表を行って頂きました。訪問校の授業写真を基にしたプレゼンで、分かりやすく具体的な示唆を頂きました。

休憩を挟んだ後の教科・領域別グループ研修研究発表会では、5 つの分科会に分散して実施しました。今年度の各自の実践をまとめた研究集録を活用して各自の実践紹介の時間を取り、その後 10 名の実践発表者から提案を頂いて、参会者の中で熱い質疑や議論が為されました。どの分科会も熱心な討議で終了時刻が延びましたが、時間を気にせず語り合う姿に、東蒲・五泉支部会員の「熱さ」を感じました。今年度の実践はいずれもクオリティが高く、来年度の本部教育研究発表会への推薦者が 7 名となりました。

今回の冬季研修総会で、今年度の大きな研修事業は終了しましたが、会員同士が熱心な議論を行い、明日のそして来年度に向けての意欲を高めるための充実した研修となりました。

私たちは東蒲・五泉支部会員としてのプライド、ときわ会員としての誇りを高く持ち、これからも質の高い研鑽を積んでいく歩みを止めません。

東蒲・五泉支部 研修委員長 石田 雄介